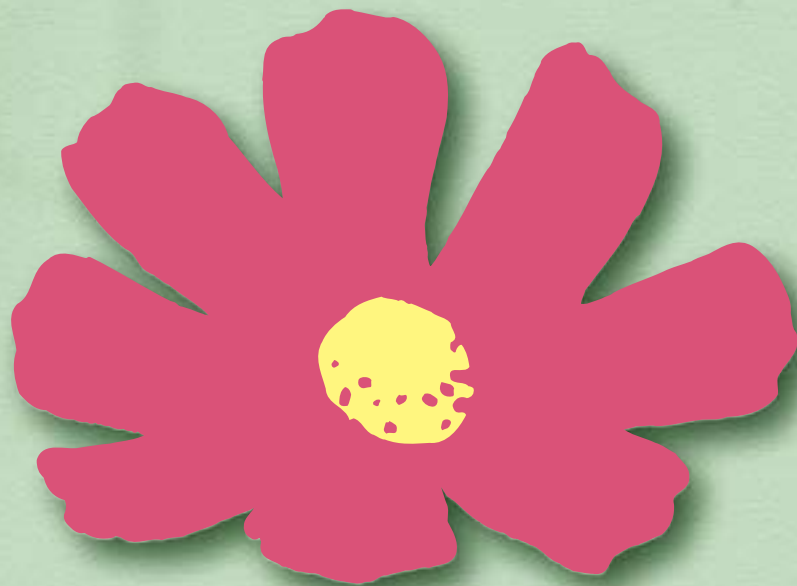




ミニ・ディスクロージャー誌

第89期 営業の中間ご報告

平成22年4月1日～平成22年9月30日

目次

ごあいさつ	2
企業理念・経営方針	3
営業の概況	4
地域コーナー	9
CSR の取組み	11
トピックス	16
財務諸表	19
役員・株式の状況	21

ごあいさつ



平素より、千葉興業銀行をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。平成22年度中間期の当行の経営内容や業績、CSR活動への取組み等につきまして、ミニ・ディスクロージャー誌にまとめました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、平成22年度上半期における国内経済は、企業収益が改善し、設備投資も持ち直しの兆しを見せるほか、個人消費も改善の動きが続くなど、自律的回復が期待できるようになる一方、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にあります。先行きにつきましても海外景気の下振れ懸念や円高・株安の市場環境、またデフレの影響等、注視が必要な状況です。当行が営業基盤とする県内経済につきましては、9月下旬から「ゆめ半島千葉国体」の開催もあり経済効果が期待されるなか、企業倒産件数は減少傾向が続き、生産活動も回復傾向にある等、緩やかな持ち直しの動きが続く一方、有効求人倍率は低水準に留まる等雇用情勢は依然として厳しく、先行きは不透明な状況です。

このような経済環境のなか、当行は、平成21年度・平成22年度に取組む中期経営ビジョン「Change & Challenge21」に基づく具体的戦略施策を積極的に展開し、「お客さまのマイバンク」を目指しております。地域のお客さまのお役に立ち、多くのお客さまにマイバンクとしてご利用いただけるよう、当行グループの総力を結集して業務に邁進してまいります。今後とも、より一層のご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成22年11月

取締役頭取・CEO 青柳俊一

当行の概要 (平成22年9月30日現在)

設 立：昭和27年1月
本 店：千葉市美浜区幸町二丁目1番2号
資 本 金：579億4,189万3,949円
従 業 員 数：1,351名



【ちば興銀は、次世代認定マークを取得しています。】

企業理念・経営方針

企業理念

- 地域とともに** 私たちは、地域とともに歩む銀行として、人々の幸せを求めて、豊かなふるさとづくりに努めます。
- お客さまのために** 私たちは、積極的にお客さまのニーズに応え、創造性を発揮し、より質の高いサービスの提供に努めます。
- 「親切」の心で** 私たちは、心のふれあいを大切にし、自己を磨き、親切ナンバーワンをめざします。

経営方針

平成21年度、平成22年度の2ヵ年におきましては、中期経営ビジョン『Change & Challenge21』に基づき、《Challenge 1:安定・持続的な成長への挑戦》《Challenge 2:高い経営品質の実現への挑戦》《Challenge 3:地域との強固なリレーション構築への挑戦》の3つの経営課題に取り組んでおります。全行員・スタッフが丸となって業務に邁進し、『お客さまのMy Bank』を目指してまいります。

中期経営ビジョン(Change & Challenge 21)

目指す姿:『お客さまのMy Bank』…お客さまにMy Bankとして選んでいただくために

Challenge
1

**安定・持続的な
成長への挑戦**

- 中小企業オーナーの経営課題への支援
- 個人のお客さまに対するライフイベント毎の支援
- 質の高いサービスが提供できる営業体制
- 対面・非対面チャネルの強化

Challenge
2

**高い経営品質の
実現への挑戦**

- お客さま満足度の向上
- 人材育成と組織の活性化
- 強固なコンプライアンス態勢の構築
- リスクマネジメントの強化
- 財務基盤の強化

Challenge
3

**地域との強固な
リレーション構築への挑戦**

- ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化
- 中小企業に適した資金供給手法の徹底
- 地域の情報収集を活用した持続可能な地域経済への貢献

営業の概況

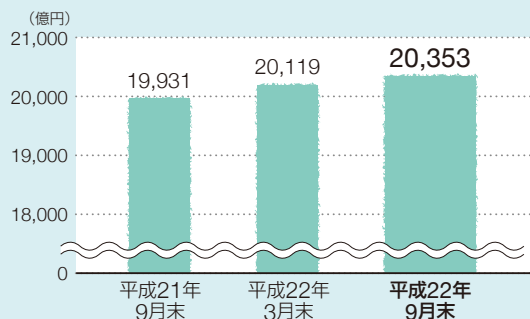
グラフ等に記載の計数及び解説文中の計数は単位未満切捨て表示となっております。

預金・貸出金等の状況

総預金の当中間期末残高は、前年同期比422億円増加し2兆353億円となりました。個人預金については、「マリーナズ応援定期」や「ゆめ半島千葉国体応援定期預金〈チーバくん定期〉」がご好評いただき、前年同期比376億円の増加となりました。

投資信託販売は増加しましたが、株価下落等の影響で基準価額が下落し、投資信託の預資産残高は、前年同期比132億円の減少となりました。

●総預金残高 ※総預金残高には譲渡性預金を含めております。

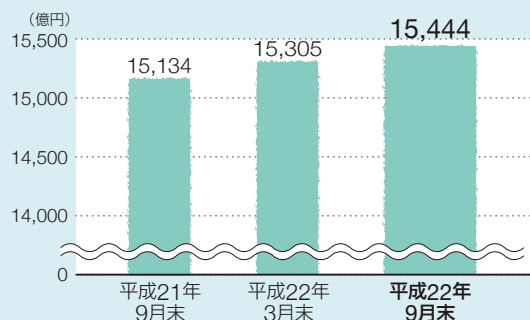


●投資信託残高

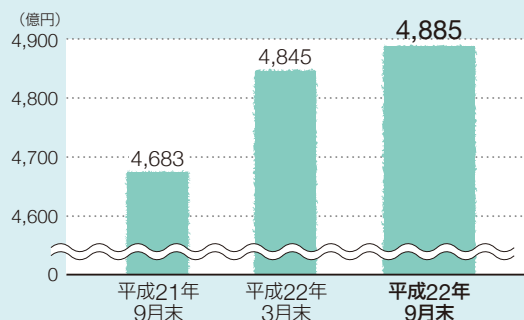


当中間期末の貸出金残高は、お取引先とのリレーション強化と、新規収益機会の獲得に重点を置いた渉外活動を展開した結果、前年同期比309億円増加し1兆5,444億円となりました。また、住宅ローンについては、販売体制強化による顧客層の拡大に努めたほか、相談会開催等によりお客さまの借換えニーズへの積極的な取組みを図ったことにより、住宅ローン残高は4,885億円と前年同期比201億円の増加となりました。

●総貸出金残高



●住宅ローン残高

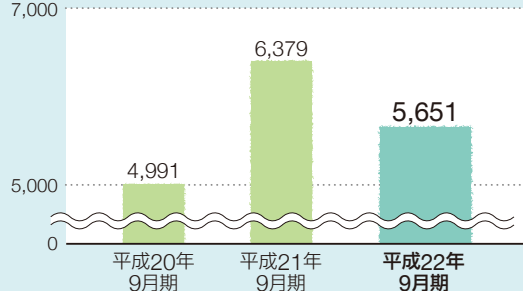


損益の状況

預金・貸出金残高は堅調に推移する一方、市場金利低下等の影響による資金利益の減少を主要因に業務純益(※)は、前年同期比7億28百万円減少し、56億51百万円となりました。厳しい経済状況のなか、企業経営支援の取組みや与信管理の徹底等により、貸倒引当金繰入額が戻入れとなるなど不良債権処理額が減少したことから経常利益は、32億35百万円と前年同期比87百万円増加しました。特別損益は、貸倒引当金戻入益や償却債権取立益の計上により、前年同期比13億41百万円増加しました。これらにより、中間純利益は、前年同期比17億21百万円増加(同率62.9%増加)し44億56百万円となりました。

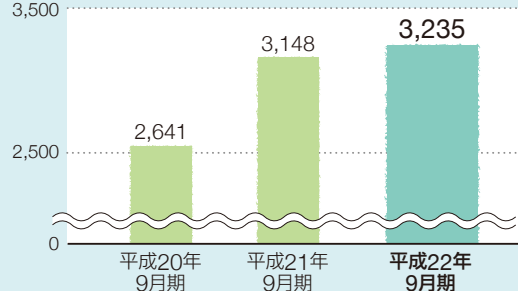
●業務純益

(百万円)
7,000



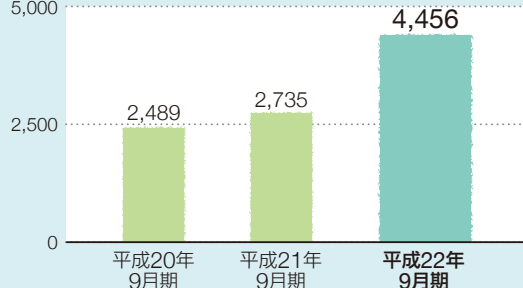
●経常利益

(百万円)
3,500



●中間純利益

(百万円)
5,000

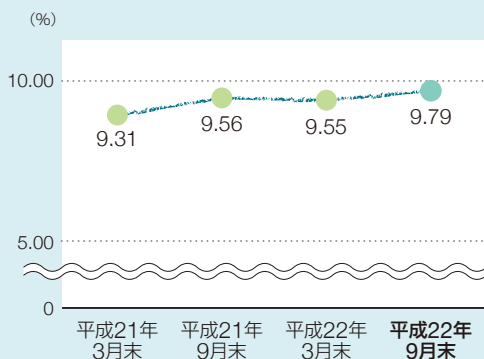


※業務純益(一般貸倒引当金繰入前)
業務純益から一般貸倒引当金繰入額を差し引いて算出しております。

自己資本比率

平成22年9月末の自己資本比率は、中間純利益44億円の計上等により基本的項目が平成22年3月末比45億円増加したことなどにより、平成22年3月末比0.24ポイント上昇し、9.79%となりました。経営の効率性を示す経営指標である修正OHR(※)は、業務粗利益が減少したことから、70.44%と前年同期比3.09ポイント上昇しました。また、収益性の高さを示すROA(※)は、コア業務純益の減少等により前年同期比0.08ポイント低下し0.49%となりました。

●自己資本比率



●自己資本比率算定明細表

(単位: %・百万円)

	平成22年3月末	平成22年9月末
1. 自己資本比率	9.55	9.79
2. 基本的項目	114,276	118,861
3. 補完的項目	10,161	9,034
(イ)うち自己資本に計上された再評価差額	—	—
(ロ)うち劣後ローン残高	5,500	5,500
4. 控除項目	199	197
5. 自己資本 2+3-4	124,238	127,698
6. リスクアセット	1,300,355	1,304,292
うちオンバランス	1,196,595	1,205,429
うちオフバランス	31,547	28,259
うちオペレーショナルリスク	72,212	70,603

※修正OHR(経費対修正業務粗利益率=経費÷業務粗利益(除く国債等債券売買損益)×100)

一定の業務粗利益を得るために、どの程度経費がかかっているかを表わす指標で、値が小さいほど経営の「効率」の高さを示しています。

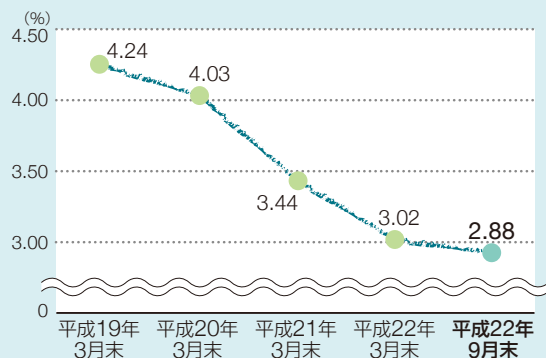
※ROA《コア業務純益ベース》(総資産利益率=コア業務純益÷総資産期中平残(除く支払承諾見返)×100)

投下された総資産が利益(コア業務純益)を得るために、どの程度効率的に利用されているかを表わす指標で、値が大きいほど経営の「収益性」の高さを示しています。

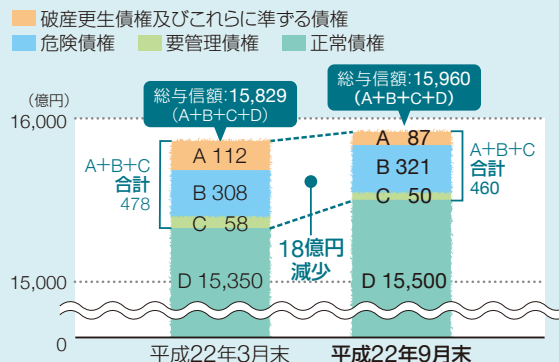
■ 経営改善支援の取組み等

「中小企業金融円滑化法」の主旨を踏まえ、「金融円滑化推進委員会」の設置、全営業店への「ご返済相談窓口」の設置、「日曜相談窓口」の設置等の行内体制整備を行い、従来以上にお取引先の資金繰り下支え、経営改善に向けた相談等に積極的に取組んでまいりました。また、「地域経済・地域社会発展への貢献」を経営課題の一つに掲げる当行は、地元企業の経営課題解決支援に取組み、お取引先企業の経営改善を積極的にサポートすることを通じて健全企業に再生できるよう注力してまいりました。このような取組みの結果、平成22年9月末の金融再生法に基づく「開示債権額」は平成22年3月末比18億円減少し460億円となりました。また、開示債権額が総与信に占める割合（開示債権比率）は、平成22年3月末比0.14ポイント改善し2.88%と2%台となりました。

◎金融再生法に基づく開示債権比率



◎金融再生法に基づく開示債権額比較



■ ATMネットワークの充実

9月には、コンビニATMの提携先が新たに2社加わり、全国のローソン店舗等に設置の「ローソンATM」と、ファミリーマートやミニストップ店舗等に設置の「イーネットATM」が当行のキャッシュカードで、原則365日24時間「お引出し」「お預入れ」「残高照会」がご利用いただけるようになりました。

これまでの提携先、セブン銀行・イオン銀行・ビューアルutte（JR東日本の駅内ATM）を含め、県内ATMの拠点は2,236箇所となりました。（平成22年11月15日現在）

■ 格付け

当行は、中立的な第三者による評価を取得し公表することで、投資家の皆さまやお取引先の皆さまに財務内容の健全性や収益性などについてご理解いただくため、平成18年10月に株式会社日本格付研究所(JCR)から長期優先債務(※)格付けを取得し公表しております。平成22年9月に見直しを行い以下の通りとなっております。

格付け 「BBB(トリプルBフラット)」[据え置き]

格付け見通し 「安定的」[据え置き]

(格付けの公表):平成22年9月27日

※長期優先債務:格付対象会社の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。

■ 利益配分に関する基本方針

当行は、銀行業としての公共性に鑑み、健全経営を確保するため内部留保の充実を図るとともに、安定的な配当に努めていくことを基本方針としております。

優先株式の配当 当中間期の優先株式の配当につきましては、5月12日に公表のとおり、本年度末に一括配当とさせていただく予定であります。

普通株式の配当 当中間期の普通株式の配当につきましては、見送らせていただくことといたしました。

■ 株主優待制度の拡充

日頃のご支援に感謝の意をこめて、ご優待制度の拡充に努めております。平成22年3月31日現在で千葉興業銀行の株式を100株以上所有されている個人・法人の株主さまを対象に「株主優待定期預金」を新設いたしました。(取扱期間:平成22年7月1日～平成23年3月31日)従来の株主優待制度である「さわやかハロー24」(※)ともども、ご利用いただけますようお願い申し上げます。

※「さわやかハロー24」

当行の株主さまに無料で、健康や医療に関するご相談をベテランの医師などが電話でお受けするサービスです。健康・医療相談のほか、夜間・休日診療の医療機関ご案内、医療機関情報のご提供、介護などシルバー情報のご提供についてご利用いただけます。

地域コーナー

地域のお客さまとのお取引の状況

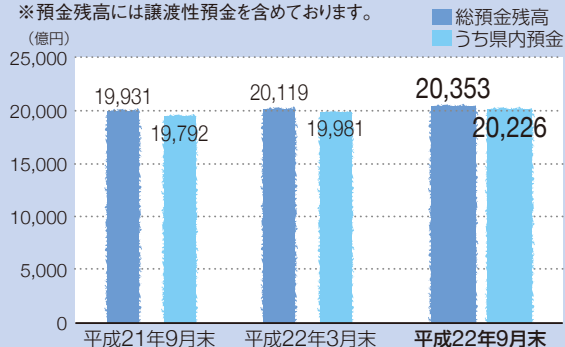
当行の預金の大半は地域のお客さまからお預りしております。
そして、地域のお客さまからお預りした大切な預金の大半を県内の
企業や個人のお客さまへの貸出に向けております。

また、平成22年9月末の県内保証協会保証付貸出金は
11,112件の1,434億円となっております。

(注) 当行は主要な営業地域を千葉県内として
おりますので、千葉県内の営業店舗の
合計計数を「県内」計数として表示して
おります。

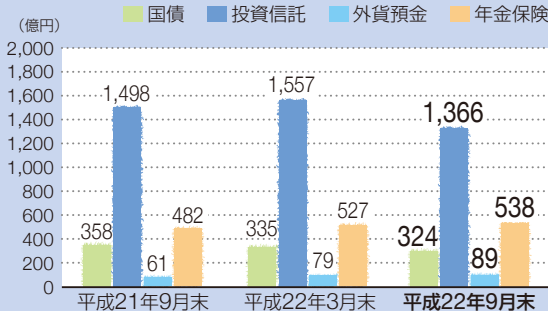
●預金残高等

※預金残高には譲渡性預金を含めております。

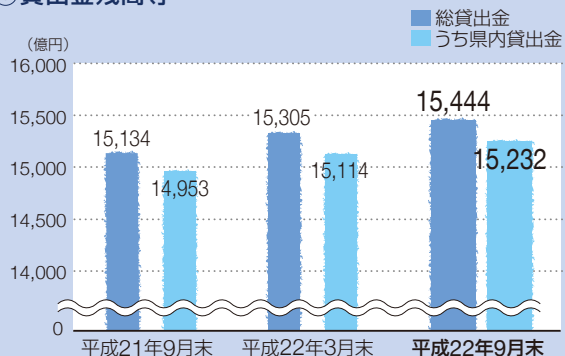


●県内の預り資産残高

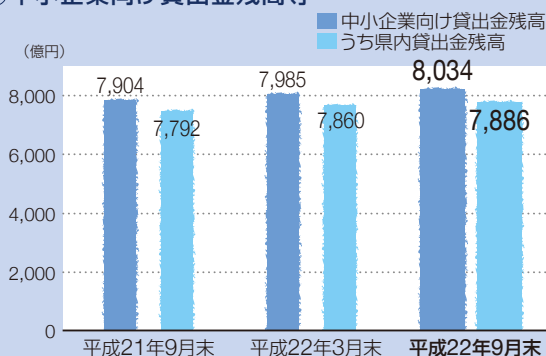
平成22年9月末の預り資産の大半が県内での預り資産です。



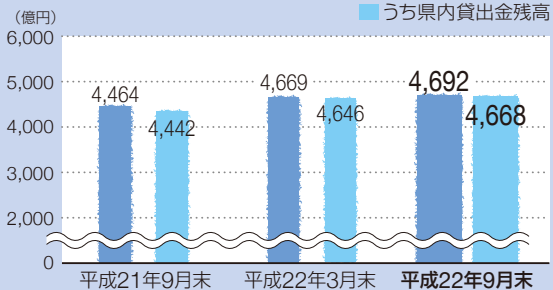
●貸出金残高等



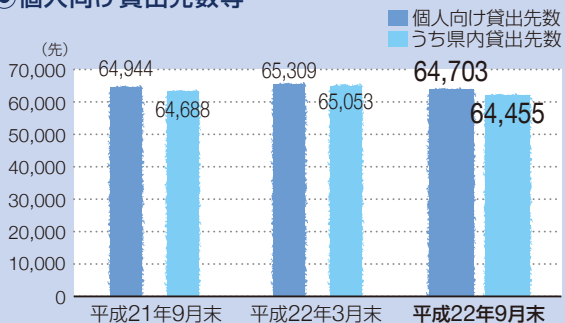
●中小企業向け貸出金残高等



●個人向け貸出金残高等

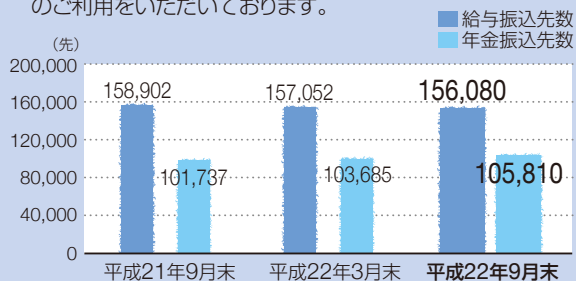


●個人向け貸出先数等



●給与振込・年金振込の口座数

給与振込や年金振込などについても、たくさんのお客さまのご利用をいただいております。



●業種別貸出金残高

当行は、それぞれの業種において、資金供給者として重要な役割を担っています。

(単位: 億円)

平成22年9月末	貸出金残高	うち県内向け
製 造 業	1,701	1,644
農 業、林 業	39	39
漁 業	0	0
鉱業、採石業、砂利採取業	26	26
建 設 業	886	884
電気・ガス・熱供給・水道業	74	74
情 報 通 信 業	48	46
運 輸 業、郵 便 業	543	535
卸 売 業、小 売 業	1,865	1,821
金 融 業、保 険 業	566	564
不動産業、物品賃貸業	3,021	2,958
各 種 サ ー ビ ス 業	1,687	1,676
地 方 公 共 団 体	278	278
そ の 他	4,703	4,680
合 計	15,444	15,232

CSRの取組み～地域社会・地域経済への貢献～

文化・スポーツ活動

「美しい房総」写真展の開催

美しい郷土・風景をお楽しみいただこうと、JR千葉駅にて、季節にあわせ毎月3点の写真を展示しております。

また、当行の営業店でも随時展示しております。



「ちば興銀コスモスセミナー」の開催

「千葉県に関する知識・情報をお客さまと共有する」をコンセプトに、無料公開講座を年2回開催しており、毎回ご好評をいただいております。第13回は22年9月に「川が運んだ伝統文化」をテーマに開催し、約90名のお客さまが受講されました。



コスモスコンサートの開催

地元の皆さまにクラシック音楽に親しんでいただけるよう、JR千葉駅前広場にて年2回(6月「祝・千葉県民の日」、10月「祝・千葉市民の日」、ミニコンサートを17年連続で開催しております。



各種スポーツ大会への協賛

22年9月に、当行主催による「第21回千葉興業銀行杯親善ゲートボール大会」を、県内ゲートボール愛好家55チーム・約400名の参加により開催いたしました。

「千葉県障害者スポーツ大会」への協賛及び選手参加(5月)。その他県スポーツ振興財団への協賛をしております。



社会奉仕活動

小さな親切運動の推進

当行は、35都道府県が参加する全国的組織「小さな親切運動」の千葉県本部及び事務局として、県内の運動推進に努めております。「小さな親切」を実行した人に贈る「実行章」は、千葉県内で22年上期(4月～9月)において301名が受章されました(累計303千人以上で全国第2位)。

当行行員は全員会員で、清掃等のボランティア活動や寄付・募金活動を実施しております。



交通安全意識を啓蒙

当行と千葉日報社が共同で設立した「コスモス交通安全協力会」より、県内新中学一年生へスポークライト(自転車事故防止用反射板)8,300個を贈呈しております(16年間で延べ217,550個)。

また、県の交通安全推進委員会が推進する交通安全運動期間におけるポスターの全店掲示及び、交通安全リボンを全行員・スタッフが着用しております。



地域交流活動への積極的参加

春の県下一斉ゴミゼロ運動に行員・スタッフおよびその家族がボランティア参加しております。(全部室店参加 総数1,150名)

また、国道14号・357号沿線の16企業・団体が組織される「国道をきれいにする会」に参加し、毎月沿道を清掃しております。(6か月延べ163名参加)



寄付活動

行員やお客さまから集めた不要衣料品を千葉県民間病院協会事務局の柏戸病院へ寄贈しております。

また、全店から集めた古切手・使用済テレカ等を、千葉市社会福祉協議会ボランティアセンターへ寄贈しております。これらは、障がい者への車椅子購入やボランティア活動資金に利用されております。

当行役職員による募金活動「ともしびの会」より、年末に県内の養護施設等へ浄財を寄贈しております。



次世代育成への取組み

当行では地域金融機関として、次世代育成支援に取り組んでいます。次世代育成支援対策の浸透を図ることで、地域社会の活性化、ひいては千葉県経済全体の発展につなげていきたい、との思いから各種取組みを行っております。

夏休み体験隊 「サマーキッズスクール2010」の開催!

県内在住の小学校5・6年生を対象として開催しており、今年で4回目となります。当日は、銀行内の貸金庫等を見学するとともに、銀行やお金の仕組み等について学び、大切なお金に関する理解を深めていただきました。また、通帳の作成を模擬体験していただきました。

今年は、「ゆめ半島千葉国体」の開催記念事業ともなり、参加した皆さんには「チーバくん」との記念撮影等でもお楽しみいただきました。

平成22年8月5日実施



「平成22年度インターンシップ」の開催!

主に大学3年生を対象として開催しております。5日間にわたるプログラムの中で、事例検討や営業店見学等を通じて銀行業務についての理解を深めるとともに、チームごとに「銀行の新しい商品・サービスを企画する」というテーマに取り組み、発表会を実施しました。学生の皆さんにとって働くことや銀行の仕事を学ぶよいきっかけにいただけたようです。

平成22年8月25日～31日実施



次世代経営者育成への取組み

ちば興銀「経営塾」

ちば興銀「経営塾」は、地元企業育成支援・後継経営者育成支援の取組みのひとつとして、平成16年9月に設立されました。幅広い視点で経営を捉えていただくための視察会やセミナーを定期的に行っています。これまでに100名を超える塾生が学び、本年10月からは第四期生のプログラムがスタートいたしました。

最近の活動状況

- 22/6 中国視察会(6月9日～12日)
- 22/7 先輩経営者講演会・工場視察
- 22/9 ちば興銀「経営塾」第三期生・修了式
- 22/10 ちば興銀「経営塾」第四期生・開講式
(中期経営計画策定講座 第1講)



中小企業へ向けた取組み

「ネットショップ活用セミナー」の開催!

地元中小企業の更なる発展を支援するため、NPO法人コスモス経営塾との共催で「ネットショップ活用セミナー」を開催いたしました。お客さま向け情報誌「こうゆう」春号と連携し、販路拡大に悩むお客さまの課題解決を図るために企画したものです。当日は、ネット市場の現状やビジネスチャンス獲得の秘訣、成功企業の事例等を具体的に紹介する二部構成で講演を実施いたしました。インターネットショップを身近な営業ツールとして認識いただけたようです。

平成22年6月15日実施



地域活性化への取組み

千葉県産食材見本市「千産千商2010」の開催！

今年5月に締結した聖徳大学短期大学部との産学連携に関する協定の活動のひとつとして千葉県産食材見本市「千産千商2010」を開催いたしました。企業関係者だけでなく、一般消費者である個人のお客さまも参加いただく食のイベントです。「ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会」の開催記念事業として、地元・千葉の食材を広くPRするために企画したもので、当日は講演会や試食会・展示即売会等も実施し、多くの方にご参加いただきました。

基調講演では、全国各地で「食育」に関する講演を展開されている木村まさ子氏を講師にお招きし、「育みはぐくまれ」と題して、「食ること」そして「生きること」の大切さを語っていただきました。また、試食会では、聖徳大学短期大学部の学生が、地元食材を「ゆめ半島千葉国体おもてなしレシピ集」を参考に料理やお菓子にアレンジし、「ちばの味」の奥行きと新しい可能性を紹介しました。展示即売会では、「今後購入してみたい」との声も多く寄せられ、参加企業の知名度アップ、ならびに企業と消費者をつなぐ「BtoC」としての販路拡大に貢献しました。

平成22年9月10日実施



トピックス

ちば興銀は「ゆめ半島千葉国体」「ゆめ半島千葉大会」を応援しました!

「チーバくん」&「マーくん」コラボレーションポスターを全店に掲示!

本年4月より、「ゆめ半島千葉国体・千葉大会」のマスコットキャラクターである「チーバくん」と「千葉ロッテマリーンズ」のメインマスコットキャラクターである「マーくん」のコラボレーションポスターを全営業店(72カ店)に掲示いたしました。



ちば興銀は、「マリーンズ応援団定期2010」の取扱い等を通じて地元球団である「千葉ロッテマリーンズ」を応援しておりますが、同じく、本年9月に開催された「第65回国民体育大会“ゆめ半島千葉国体”」のオフィシャルスポンサーとして、またあわせて「第10回全国障害者スポーツ大会“ゆめ半島千葉大会”」についても応援いたしました。「チーバくん」「マーくん」の両人気キャラクターが登場するポスターの掲示により、県民の皆さまと共に「千葉ロッテマリーンズ」と「ゆめ半島千葉国体・千葉大会」を応援し、県内の活性化に寄与いたしました。

ゆめ半島千葉国体応援定期預金「チーバくん定期」を発売、千葉国体に約500万円を寄付!

「第65回国民体育大会“ゆめ半島千葉国体”」及び「第10回全国障害者スポーツ大会“ゆめ半島千葉大会”」を応援するため、お預入いただいた定期預金の0.02%相当額(※)を千葉県の大会事務局に寄付する「ゆめ半島千葉国体応援定期預金<チーバくん定期>」を7月から9月末の期間限定で取扱いいたしました。(※)お客さまのご負担はございません。

お客さまから大変ご好評をいただき、お預入総額は250億円を突破、5,079,448円の寄付金を贈呈することができました。

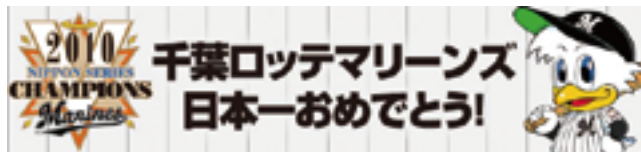
ちば興銀は、地元金融機関として、今後とも地域活性化に積極的に取り組んでまいります。



ゆめ半島千葉国体・開会式にブースを出展!(平成22年9月25日)

千葉県での国体開催は37年ぶりとなる「ゆめ半島千葉国体」の開会式では、当行行員がアシスタントとして参加し、式典をサポートしました。また、千葉銀行と共同で「おもてなしブース」を出店し、12月に開催するエコノミクス甲子園のチラシやコスモスの種を配布いたしました。

「マリーンズ・キャンペーン」を実施! (平成22年10月・11月)



ちば興銀では、地元球団である「千葉ロッテマリーンズ」を応援しております。千葉ロッテマリーンズの日本シリーズでの勝利を祈念する意味をこめて10月27日より、「感動をありがとう!マリーンズキャンペーン」を、日本シリーズ優勝が決定した翌日の11月8日より「夢をありがとう!マリーンズキャンペーン」を実施いたしました。(平成22年11月30日まで)

キャンペーン期間中は、外貨預金ATMサービスにて米ドル建て外貨定期預金をお預け入れいただく際の為替手数料の割引等を実施。当行オリジナルグッズもプレゼントいたしました。

なお、千葉ロッテマリーンズの戦績に応じて金利が上乗せとなる「マリーンズ応援団定期2010」(8月31日まで発売)につきましては、プレミアム金利の適用が決定しております。

ちば興銀は千葉ロッテマリーンズを応援しています!

「ちば興銀スペシャルナイター」開催!(平成22年7月18日)

ちば興銀では、今年もマッチデーを開催いたしました。公式ファンクラブであるTEAM26との共同企画による様々な催しを行いました。また、千葉県体のマスコットキャラクター「チーバくん」と千葉ロッテマリーンズのメインマスコットキャラクター「マーくん」との共同イベントも実施し、多くの方にお楽しみいただきました。

ちば興銀ブースでは、観戦チケットなどが当たる抽選会を実施。景品の中には当行オリジナルのマリーンズ・ちば興銀・千葉国体の特製タオルなどもあり、大変ご好評をいただきました。

ちば興銀は、地元金融機関として、今後も千葉ロッテマリーンズを応援してまいります。



「ごちそう定期プラス」今年も発売！（平成22年11月）

毎年恒例となりました期間限定の懸賞品付定期預金「ごちそう定期プラス」の取扱いを開始いたしました。全国の名産品・銘品の中から好きな商品をお選びいただけるカタログ、または千葉県の名産品・銘品の詰め合わせセットが合計1,200本当たります。懸賞品に対するお客さまのご期待も大きく、毎回大変ご好評をいただいております。また、期間1年もののに限定いたしますが、同期間のスーパー定期預金の基準金利+0.02%の金利が適用される商品となっております。（平成23年3月31日まで）

*詳細については、「商品概要説明書」（当行ホームページにも掲載）をご覧ください。



「お客さまにやさしい」店づくり

目のご不自由なお客さまでも操作が可能な「視覚障がい者対応ATM」を全営業店に設置いたしております。ATM付属のハンドセット（受話器）から流れる操作誘導の音声ガイダンスに従い、ハンドセットについたテンキーボタンにて操作いただけます。お預入れ・お引出し・残高照会・通帳記入のお取引でご利用いただけるものです。

ちば興銀ではこれからもお客さまにご利用しやすく、やさしい店づくりをすすめてまいります。



「環境に配慮した」通帳を使用！

普通預金（一般口座・総合口座）通帳の素材につきまして、再生紙として利用可能な素材を採用し、印刷には植物油インキを使用いたしております。また、磁気ストライプについて、焼却しても有害ガスの発生が少ない脱塩ビ磁気ストライプを採用しております。

ちば興銀では、今後も資源の保護、再利用といった環境に配慮する取組みを継続してまいります。

【新通帳見本・総合口座通帳】



財務諸表

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●第89期中(平成22年9月30日現在) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	32,718	預 金	2,027,307
コールローン	30,000	譲 渡 性 預 金	8,070
買入金銭債権	12,364	借 用 金	9,700
商品有価証券	132	外 国 為 替	72
有価証券	520,100	そ の 他 負 債	37,374
貸 出 金	1,544,471	未 払 法 人 税 等	186
外 国 為 替	2,646	リ ー ス 債 務	971
そ の 他 資 産	32,987	その他の負債	36,217
有形固定資産	19,133	退職給付引当金	4,767
無形固定資産	1,770	役員退職慰労引当金	50
繰延税金資産	23,194	睡眠預金払戻損失引当金	279
支払承諾見返	22,724	支 払 承 諾	22,724
貸倒引当金	△9,780	負 債 の 部 合 計	2,110,345
資 産 の 部 合 計	2,232,463	(純資産の部)	
		資 本 金	57,941
		資 本 剰 余 金	32,792
		資 本 準 備 金	32,792
		利 益 剰 余 金	29,486
		利 益 準 備 金	2,723
		その他利益剰余金	26,762
		繰越利益剰余金	26,762
		自 己 株 式	△63
		株 主 資 本 合 計	120,157
		その他有価証券評価差額金	1,960
		評価・換算差額等合計	1,960
		純 資 産 の 部 合 計	122,117
		負債及び純資産の部合計	2,232,463

●第89期中(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで) 中間損益計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	21,750
資金運用収益	17,221
(うち貸出金利息)	(14,068)
(うち有価証券利息配当金)	(2,970)
役務取引等収益	3,201
その他業務収益	1,183
その他経常収益	143
経 常 費 用	18,515
資金調達費用	1,303
(うち預金利息)	(1,195)
役務取引等費用	1,779
その他業務費用	452
営 業 経 費	12,881
その他経常費用	2,097
経 常 利 益	3,235
特 別 利 益	1,758
特 別 損 失	8
税引前中間純利益	4,985
法人税、住民税及び事業税	26
法人税等調整額	502
法人税等合計	528
中 間 純 利 益	4,456

●第89期中(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで) 中間株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
株 主 資 本		自 己 株 式	
資 本 金		前 期 未 残 高	△62
前 期 未 残 高	57,941	当中間期変動額	
当中間期変動額		自己株式の取得	△0
当中間期変動額合計	—	当中間期変動額合計	△0
当中間期末残高	57,941	当中間期末残高	△63
資 本 剰 余 金		株主資本合計	
資 本 準 備 金		前 期 未 残 高	117,120
前 期 未 残 高	32,792	当中間期変動額	
当中間期変動額		剰余金の配当	△1,419
当中間期変動額合計	—	中間純利益	4,456
当中間期末残高	32,792	自己株式の取得	△0
資本剰余金合計		当中間期変動額合計	3,037
前 期 未 残 高	32,792	当中間期末残高	120,157
当中間期変動額		評 価 ・ 換 算 差 額 等	
当中間期変動額合計	—	その他有価証券評価差額金	
当中間期末残高	32,792	前 期 未 残 高	3,576
利 益 剰 余 金		当中間期変動額	
利 益 準 備 金		株主資本以外の項目の	
前 期 未 残 高	2,439	当中間期変動額(純額)	△1,616
当中間期変動額		当中間期変動額合計	△1,616
剰余金の配当	283	当中間期末残高	1,960
当中間期変動額合計	283	評価・換算差額等合計	
当中間期末残高	2,723	前 期 未 残 高	3,576
その他利益剰余金		当中間期変動額	
繰越利益剰余金		株主資本以外の項目の	
前 期 未 残 高	24,009	当中間期変動額(純額)	△1,616
当中間期変動額		当中間期変動額合計	△1,616
剰余金の配当	△1,703	当中間期末残高	1,960
中間純利益	4,456	純 資 産 合 計	
当中間期変動額合計	2,753	前 期 未 残 高	120,697
当中間期末残高	26,762	当中間期変動額	
利益剰余金合計		剰余金の配当	△1,419
前 期 未 残 高	26,448	中間純利益	4,456
当中間期変動額		自己株式の取得	△0
剰余金の配当	△1,419	株主資本以外の項目の	
当中間期変動額合計	4,456	当中間期変動額(純額)	△1,616
当中間期末残高	3,037	当中間期変動額合計	1,420
当中間期末残高	29,486	当中間期末残高	122,117

●第89期中(平成22年9月30日現在)

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	32,920	預 金	2,021,079
コールローン及び買入手形	30,000	譲渡性預金	8,070
買入金銭債権	12,365	借 用 金	16,984
商品有価証券	132	外国為替	72
有価証券	519,634	その他負債	43,014
貸 出 金	1,539,214	退職給付引当金	4,922
外国為替	2,646	役員退職慰労引当金	95
その他資産	53,299	睡眠預金払戻損失引当金	279
有形固定資産	19,319	支払承諾	35,735
無形固定資産	1,962	負債の部合計	2,130,253
繰延税金資産	23,602	(純資産の部)	
支払承諾見返	35,735	資 本 金	57,941
貸倒引当金	△14,749	資本剰余金	32,792
資産の部合計	2,256,084	利益剰余金	31,798
		自己株式	△63
		株主資本合計	122,469
		その他有価証券評価差額金	1,966
		評価・換算差額等合計	1,966
		少数株主持分	1,394
		純資産の部合計	125,830
		負債及び純資産の部合計	2,256,084

●第89期中(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

中間連結損益計算書(単位:百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	25,986
資金運用収益	17,154
(うち貸出金利息)	(14,098)
(うち有価証券利息配当金)	(2,873)
役務取引等収益	3,591
その他業務収益	1,183
その他経常収益	4,056
経 常 費 用	22,617
資金調達費用	1,362
(うち預金利息)	(1,192)
役務取引等費用	1,249
その他業務費用	452
営業経費	13,059
その他経常費用	6,493
経 常 利 益	3,369
特 別 利 益	1,338
特 別 損 失	8
税金等調整前中間純利益	4,699
法人税、住民税及び事業税	188
法人税等調整額	351
法人税等合計	540
少数株主損益調整前中間純利益	4,159
少数株主利益	12
中 間 純 利 益	4,146

●第89期中(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

中間連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
株 主 資 本		評 価 ・ 換 算 差 額 等	
資 本 金		その他有価証券評価差額金	
前期末残高	57,941	前期末残高	3,586
当中間期変動額	—	当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—	株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	△1,619
当中間期末残高	57,941	当中間期変動額合計	△1,619
資本剰余金		当中間期末残高	1,966
前期末残高	32,792	評価・換算差額等合計	
当中間期変動額	—	前期末残高	3,586
当中間期変動額合計	—	当中間期変動額	
当中間期末残高	32,792	株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	△1,619
利益剰余金		当中間期変動額合計	△1,619
前期末残高	29,071	当中間期末残高	1,966
当中間期変動額		少 数 株 主 持 分	
剰余金の配当	△1,419	前期末残高	1,421
中間純利益	4,146	当中間期変動額	
当中間期変動額合計	2,727	株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	△26
当中間期末残高	31,798	当中間期変動額合計	△26
自己株式		当中間期末残高	1,394
前期末残高	△63	純 資 産 合 計	
当中間期変動額		前期末残高	124,750
自己株式の取得	△0	当中間期変動額	
当中間期変動額合計	△0	剰余金の配当	△1,419
当中間期末残高	△63	中間純利益	4,146
株主資本合計		自己株式の取得	△0
前期末残高	119,742	株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	△1,646
当中間期変動額		当中間期変動額合計	1,080
剰余金の配当	△1,419	当中間期末残高	125,830
中間純利益	4,146		
自己株式の取得	△0		
当中間期変動額合計	2,726		
当中間期末残高	122,469		

役員・株式の状況

役員 (平成22年11月30日現在)

取締役頭取・CEO	青柳	俊一
取締役副頭取・COO	梅村	星児
専務取締役・専務執行役員	星野	智史
常務取締役・常務執行役員	安良	博男
常勤監査役	安田	達央
常勤監査役	奥田	行雄
監査役	小口	弘史
監査役	佐藤	英夫

(注) 監査役小口弘史氏および佐藤英夫氏は、東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2にいう独立役員であります。

株式の状況 (平成22年9月30日現在)

① 株式数

株式の種類	発行可能株式総数	発行済株式の総数
普通株式	138,750千株	50,722千株
第一回第一種優先株式	1,250千株	1,250千株
第二回第二種優先株式	5,000千株	5,000千株
第三回第三種優先株式	35,000千株	17,150千株

② 株主数

普通株式	12,283名
第一回第一種優先株式	2名
第二回第二種優先株式	2名
第三回第三種優先株式	1名

③ 大株主

株式の種類	氏名又は名称	持株数 (千株)	持株比率 (%)
普通株式	株式会社みずほコーポレート銀行	4,791	9.45
	株式会社みずほ銀行	4,791	9.45
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,304	4.54
	明治安田生命保険相互会社	2,158	4.25
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,655	3.26
	株式会社損害保険ジャパン	1,588	3.13
	坂本飼料株式会社	1,249	2.46
	みずほ信託銀行株式会社	926	1.82
	東京海上日動火災保険株式会社	692	1.36
第一回第一種優先株式	株式会社みずほコーポレート銀行	625	50.00
	株式会社みずほ銀行	625	50.00
第二回第二種優先株式	株式会社みずほコーポレート銀行	2,500	50.00
	株式会社みずほ銀行	2,500	50.00
第三回第三種優先株式	株式会社整理回収機構	17,150	100.00

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
 3. 普通株式の持株比率は自己株式(52,427株)を控除して、算出しております。

■ 株式のご案内

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 配当受領
株主確定日 期末配当:毎年3月31日
中間配当:毎年9月30日
- 定時株主総会 毎事業年度終了後3か月以内に開催
- 基準日 定時株主総会については、毎年3月31日
その他必要あるときはあらかじめ公告する一定の日
- 単元株式数 100株
- 公告掲載新聞 東京都において発行する日本経済新聞
なお、決算公告につきましては、
当行ホームページの下記アドレスに
掲載いたします。
<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/toushi/ir/koukoku.html>
- 株式事務取扱場所
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店 証券代行部

● 単元未満株式の買取請求について

単元未満株式をご所有の場合、その単元未満株式を当社が買い取らせていただく制度（買取制度）がございますので、どうぞご利用ください。

特別口座に記録された株式の買取請求については、下記株主名簿管理人（特別口座管理機関）において受付けております。また、証券会社等の口座に記録された株式の買取請求については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

● 特別口座株式のご売却について

特別口座にて管理されている単元株式を売却されるには、事前に証券会社等の口座を開設し、その後振替手続を行っていただく必要があります。お手続き等の詳細は下記株主名簿管理人（特別口座管理機関）にお問い合わせください。

株主名簿管理人（特別口座管理機関）
みずほ信託銀行株式会社

■ お問合せ先（郵便物送付先）

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324

株主様のご住所・お名前等に関する文字についてのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等（いわゆる「外字」）が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。

株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



〒261-0001 千葉市美浜区幸町二丁目1番2号

TEL.043-243-2111

<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/>



このミニディスクロージャー誌は環境に配慮した
植物性大豆油インキを使用しています。